

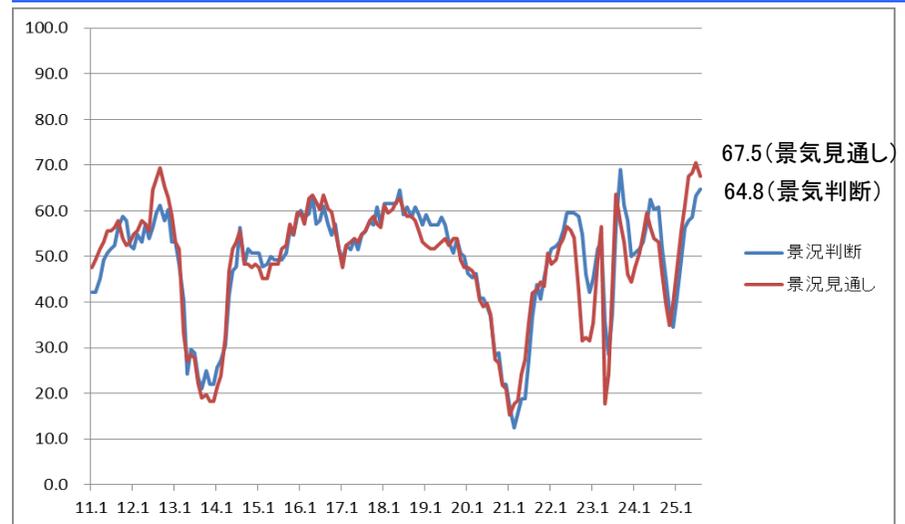
1 地方（全国）の景気動向

地方経済天気図：地方銀行協会が全国各地の地方銀行から報告された景気に関する情報を取りまとめたもの

地方経済天気図の各地の状況 ※昨年11月と今年7月との比較

	平成24年11月		平成25年7月	
北海道	横這い圏内	曇雨	緩やかな持ち直し	曇雨
東北	弱含み	曇雨	緩やかな持ち直し ↗	曇
関東	弱含み	曇雨	緩やかな持ち直し	曇雨
甲信越	停滞	曇雨	緩やかな持ち直し	曇雨
北陸	横這い圏内	曇雨	横這い圏内	曇雨
東海	弱含み	曇雨	緩やかな持ち直し ↗	曇
近畿	弱含み	曇雨	上向き	曇雨
中国	弱含み	曇雨	上向き	曇雨
四国	弱含み	曇雨	緩やかな持ち直し	曇雨
九州	横這い圏内	曇	緩やかな持ち直し	曇
沖縄	緩やかな持ち直し	曇	回復 ↗	晴

地方経済天気図D I（7月）



（最近<25年1月以降>の景況判断D I）

景況判断D Iは25年3月以降、5か月連続で50%超

25/1	25/2	25/3	25/4	25/5	25/6	25/7
40.6	49.2	56.3	57.8	58.6	63.3	64.8

$$DI = (\text{好転} \times 1 + \text{不変} \times 0.5 + \text{悪化} \times 0) / \text{回答銀行数} \times 100$$

項目別D Iの状況（7月）

個人消費 (53.1)	乗用車販売が減少したものの、大型小売店販売が衣料品・高額商品を中心に増加するなど、底固い動き（5月から3か月連続で50超）
投資関連	住宅建設 (71.9) 持家、貸家、分譲住宅いずれも増加し、好調持続（昨年11月から9か月連続で50超）
	設備投資 (61.7) 先送りしてきた維持・更新投資を計画・実施する動きが見られる（2月から6か月連続で50超）
	公共工事 (71.9) 被災地の復旧・復興工事に加え、補正予算の執行に伴い、全国で増加（昨年2月から17か月連続で50超）
輸出 (59.6)	自動車、一般機械を中心に増加基調（3月から5か月連続で50超）
生産活動 (58.6)	輸送機械、一般機械などで増産の動きがみられる（3月から5か月連続で50超）
雇用情勢 (60.9)	新規求人数が増加するなど、緩やかな改善（2月から6か月連続で50超）

2 九州の景気動向

九州の景況（6月）

景気全般	九州地域景気総合指数（九州C I）一致指数は、前月比+1.2%上昇 → 持ち直しの動き
鉱工業生産	鉱工業生産指数（沖縄県除く）は、前月比▲1.2%の99.7（2005年=100）となり、2ヶ月連続低下
個人消費	大型小売店販売額（全店）は前年比+5.7%と、1999年の九州・沖縄地区の集計開始以来、過去最高の伸び
公共投資	九州新幹線長崎ルートや東九州自動車道の工事が本格的に始まったのに加え、福岡市内で公立学校共済組合九州中央病院の新築工事をはじめ、病院の新築工事を中心に好調を維持
設備投資	非居住者用着工建物床面積は、前年比+32.1%となり、3ヶ月連続で前年を上回る
住宅投資	新設住宅着工戸数は前年比+6.8%と、11ヶ月連続の増加。持家は+4.7%と10ヶ月連続、分譲は+3.3%と7ヶ月連続で増加
雇用	有効求人倍率（季節調整値・沖縄県除く）は、九州7県で0.77倍と改善
観光	九州8都市における主要ホテル稼働率は前年比+3.4%と、9ヶ月連続でプラス。高速道路交通量も同+4.6%と6ヶ月連続で前年を上回る

景気ウォッチャー調査「九州」（7月）

家計動向は5分の1、企業動向は約半数、雇用動向については4分の3が「やや良くなっている」と回答

【家計動向】

良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている	合計
1	17	48	8	7	81
1.2%	21.0%	59.3%	9.9%	8.6%	

【企業動向】

良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている	合計
0	16	8	5	0	29
0.0%	55.2%	27.6%	17.2%	0.0%	

【雇用動向】

良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている	合計
0	12	3	1	0	16
0.0%	75.0%	18.8%	6.3%	0.0%	